

# ロータリー家族月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

## 福家 宏



12月は家族月間(Family Month)です。

1995～96年度ハーバート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして1995年11月のRI理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2007年7月の同理事会において、2003～04年度ジョナサン・マジニアベRI会長が家族の重要性を強調していることを称え、理事会は12月を「家族月間」と指定し、これに伴って「家族週間」を廃止しました。

ロータリー家族とは、ロータリアンの配偶者や子弟、ロータリー財団学友(当地区ではPSC)GSE体験者(当地区ではアルムニ会)米山学友、米山奨学生、ローターアクター、インターアクター、ROTEX、青少年交換学生など全てを指しています。ロータリアンは「ロータリー家族」と共に奉仕プロジェクトを行なうことも推奨されています。

「ロータリー家族月間」は、ロータリアンが奉仕活動や諸行事を通じてロータリー家族や地域社会への献身を

示す月間であります。そしてクラブおよび地区はロータリアンとその配偶者や子弟、元ロータリアン、亡くなったロータリアンの配偶者等に対する家族的な心配りを実践する月間でもあります。私たちは12月を迎えるにあたって、この月間の意味を十分に理解し、ロータリー家族の大切さや、ロータリアンとしてロータリー家族にどう向き合い、何をすべきかについて改めて考えてみては如何でしょうか。

多くのと言うより、殆どのクラブが12月には「忘年家族会」や「クリスマス会」を計画されることでしょう。そのような行事には是非ロータリー家族をお招きになり、交流を深めておくことは大切です。

この月間にはロータリアンがロータリー家族とともにさまざまな建設的考えを分かち合うことによって会員を増強し、退会を防止し、組織を強化し、更には人道的奉仕活動を発展させることによって、社会におけるロータリーの信用度を高め、活力ある豊かなロータリーの発展に繋げることが期待されているのです。